

環境影響評価審査会 北近畿豊岡自動車道部会（第2回）会議録

- 1 日時：平成26年12月3日（水） 15時55分～17時00分
- 2 場所：兵庫県但馬県民局職員福利センター多目的ホール
- 3 議題：豊岡都市計画道路1.4.3号北近畿豊岡自動車道北線に係る環境影響評価準備書の審査について
- 4 出席委員：大迫委員、小谷委員、上甫木委員（部会長）、菅原委員、住友委員、三橋委員
- 5 兵庫県：環境影響評価室長、審査情報班長他班員2名
自然環境課、水大気課
- 6 事業者：国土交通省近畿地方整備局
- 7 配付資料
資料1 環境影響評価に関する条例手続の流れ（北近畿豊岡自動車道北線）
資料2 総会時に出た意見に対する説明資料
資料3 隣接供用区間の路面における動物の死骸回収状況
- 8 議事概要
事業者が、資料2により総会（平成26年9月30日開催）時に出た意見に対して説明。その後、準備書記載内容のうち、植物、動物、生態系に関する項目について説明。

〔質疑〕

（委員）

水域生態系のところで、路線を見ていくと、道路そのものが山より高いところがあり、色々な排水が入って下へ下りていく。

水域生態系を保全するときに、色々な動物単位や植物単位で保全を考えてこられているが、ここに道路を作る、トンネルを掘るところで、水の流れに何らかの変化があり得るはずで、それに対する配慮がここに書かれていない。

（事業者）

委員から発言のあった、山の高いところでできて、どういった水の変化が起こるかは、今の段階では予測していないのでわからない。

そもそも、道路排水をどういう形でどこへ流していくかはこの段階では決まっていないので、4-3-10-53頁に、道路排水については、耕作地や閉鎖的な水域に極力流入しないような排水をすることは書いているが、水環境が変化したときにどう対応するかという具体的なところまでは書いていない。

（委員）

あり得ることに対して、今は何もできなくても、可能性は想定できるという前提で、それに対してどういう対応をするかというのがほしい。

たぶん、それなりの変化は絶対起こると思うので、準備書の段階で、不確定なところも残されているということで、モニタリングするとか、何か起こった場合にどう対応していくか等、対策をもう少し検討をしてほしい。

(委員)

今日現場を見て、これは何か起こるなという感じがした。

(事業者)

予測項目とはできないが、何か記載できるか検討する。

(委員)

文献調査でカワネズミが出ていて、現地調査では出てないが、文献調査でのカワネズミの生息地はどのへんか。

(事業者)

文献調査では位置の確認はできていない。

(委員)

場合によっては、現地調査で漏れているのではないか。

夜行性なので確認するのは難しいとは思いますが、トラップ調査をされてないので、トラップ調査なら、他のネズミとは餌が違うので、確認できるかもしれない。

そうすると、水系というものをそれなりに配慮してもらわないと、もしいた場合に影響を受けるだろう。

(部会長)

近傍で生息地が確認されている？

(委員)

そういうことでしょうか。文献でカワネズミが出ているので。

(部会長)

対象範囲の中では確認されていないのか。

(事業者)

文献調査では詳細の位置はわからない。豊岡市内にいるという情報しか確認できず、現地調査でも見つかっていない。

今回、事後監視調査を実施する、とさせていただいたのは、今の段階から、事業実施まで時間がある程度空くので、そういった観点で、経年変化的なものもあるし、もう1回工事前に調査するという事で事後監視調査を計画している。もっとも、この事後監視調査で全部見つかるかというところも難しいかもしれないが。

(委員)

4-3-9-205頁の、間接的影響の騒音の項目で、ミサゴ、ハチクマ、サシバに影響があるとのことだが、これは文献か何かから確認されたのか。

(事業者)

既存文献を参考に営巣地の近くでは影響があると予測している。

(委員)

繁殖阻害ということも書いてあるのか？

(事業者)

営巣地に近い場所では繁殖行動に影響があるとされている。

(委員)

音の大きさに対して？

(事業者)

音の大きさではなく、既存文献を参考に、営巣地からの距離が500m以内で繁殖行動に影響があるとして予測を行った。

(委員)

もし文献名があれば教えてほしい。

(部会長)

4-3-9-206頁で、コウノトリの誘導構造物を設置するという、このこと自体は重要なことではあるが、非常に幅広い構造物が前面に出てくる可能性もあるので、併せて、景観的配慮も踏まえてみていただきたい。たぶんこれから専門の方と協議されると思うが。

(委員)

道路ができることによって、周辺の動物の行動範囲に対する影響は調べたことはあるか。行き来ができなくなる動物もいるのではないか。そういうのは問題にならないのか。

(事業者)

移動経路の分断については予測の中でも触れているが、詳細な調査までは行っていない。

今は分断影響が考えられる種は確認されていないが、今後、事後監視調査で横断経路の確保が必要な重要種が確認された場合は、必要な措置を検討することとなる。

(委員)

殆どが「影響が小さい」と書かれているが、基準が明示されていない。分母の取り方で影響は大きく変わる。範囲選定を今から再考して基準を明示するのは難しいが、もう少し書き方があるのではないか。

例えば、橋梁、トンネル部で地下水位が低下すると予想される沢に、ある生物の産地が何地点あるから、影響は300m圏域で何%であるかという書き方はできる。ある生物が生息する地点が3地点あるが、そのうち、トンネルで地下水位に影響があると思われる箇所が2地点あり、地下水シュミレーションでも●●cmの水位低下があるという書き方ができるはず。もちろん、全く全然外れていて影響がないなら、そう書けばいい。文章のすべての部分で「影響は小さいと予想される」と書いてあるので、これなら、調査する前でも書けるのではないか。

書き方を全面的に直せと言っても大変なので、見直した方が良いか、事業実施段階において定量調査を行うとか、書けば良いと思う。定量性を高めないと、そのままこれを影響は小さいかと審議会で結論が出ていると役所や地域に報告しても、こちらは責任が取れないし、地域に対しても迷惑だと思う。

例えば、道路からトンネル部に関連する沢のみに棲んでいるので影響があるとか、例えば、行動圏のうち、何%が含まれているとか。特に猛禽類は250メートルの範囲に大きくかぶっていたと思う。そのような書き方をして定量性に努めてほしい。

また、将来の道の計画で、今日現地調査で行った病院の横にも県道が都市計画決定を予定されているということだが、「影響が小さい」と書いてあるが、次の計画と合わせたら、猛禽類の行動圏を通るわけなので、何か前倒しで対策をすることはできないものか。

(部会長)

少し、全体として、影響があるとかないとかいう話も含めて、たぶん、場所とか種とか、もっときめ細かに考えたときには配慮しないといけないところが発生するのではないか。先ほどの排水がまだわからないとか、照明の位置がわからないとかいうこともあるので、それらとの関係でもう少しきめ細かく検討していただけたらと思う。

[終了]